

郵政で働くみんなの組合＝郵政ユニオン狭山支部を結成

「ゆうメイト」が正当に評価される職場をつくろう

スキル評価で不当に減給に受けたことから、これほど労働組合の存在を身近に感じたことはありません。遠くの組合よりすぐそばの、打てば響くような組合の存在がどれほど心強いかわかり、きっとみなさんも分かると思います。私たちゆうメイトが、いかに弱い立場か、みなさんも身につまされていると思います。郵政ユニオンはそんなみんなの力になります。力を合わせて人権を、そして生活を守りましょう！

(松尾功・ゆうメイト)

「休憩時間を取ってください」・・・でも取れないことだってあるんですよ。管理者は知ってか知らずか逃げの手を打つばかりです。今までは、みんなでグチを言い合っても何も変わりませんでした。身近な組合ができた今、たくさんの不満や愚痴をひとつの力にして、私たちの働きやすい、そして夢も希望も持てる職場に変えていきましょう！ 私たちユーメイトの存在価値をもっと高く評価してもらるように頑張ります。

(大野実・ゆうメイト)

郵政労働者ユニオン狭山支部

連絡先：松尾功（4集） 090-3916-0889

郵政で働く「ゆうメイト」は16万人。私たちの職場でも多くの「ゆうメイト」が働いています。その力なくしては職場は一日たりとも動きません。仕事も責任も本務者と殆ど変わらないし、仕事に対する熱意も負けません。

しかし、私たちに対する処遇はどうでしょうか？ あまりにも低い賃金、毎日起勤しても終わらない実態

を見て見ぬふりの管理者、「ゆうメイトは黙って働いている」と言わんばかりの差別的な職場の雰囲気……。ゆうメイト」が人として尊重され、正当に評価されているとはとても思えません。

こうした職場を少しでも改善するために、私たちは自らの手で郵政ユニオン狭山支部を結成しました。郵政ユニオンは、ゆうメイトと本務者が一緒につくるみんなの組合です。

「ゆうメイト」の労働条件改善はみずからの手で

会社や管理者の態度、労働条件や職場の雰囲気は嘆いていただけでは何も変わりません。自分たちの労働条件は自分たちの手で守る以外にはありません。最初は小さな一歩であっても、全てはそこから始まります。職場には多くの仲間がいます。その

力がひとつになれば変えることはできません。自分の労働条件は自らの手で変えて行きましょう！ ゆうメイトによるゆうメイトのための組合、それが私たちの思いです。私たちの働きやすい職場をつくるために、郵政ユニオンに加入して一緒に闘いましょう！

「正規・非正規を越えた連帯と同一処遇を実現しよう！」

賃金から休暇やロッカーまで差別される私たちの職場。でも、仕事や責任が同じであれば賃金は同じで当然です。同じ「社員」なのに処遇が違うのは納得できません。

「同一労働・同一賃金」はILO条約でも定められたグローバル・スタン

ダードです。「格差社会」を克服するためにも、その根幹にある賃金格差の解消が必要です。郵政ユニオンは「同一労働・同一賃金」を目指した賃金の抜本的な引き上げと処遇の改善を正規・非正規の違いを越えた連帯と闘いで実現します。